

平成 17 年 4 月 18 日

関 係 各 位

財団法人日本サッカー協会
事務局 長 豊島吉博

コーナーフラッグポストの設置方法について

標記の件については既に平成 14 年 8 月 27 日付けにてお知らせしております。

通告通り対応していただいていると存じますが、別紙資料のような設置例もあり、試合実施の際に審判員やマッチコミショナーより改善の指導を受ける事例が散見されております。

つきましては別紙資料を参照の上、対応していただきますようお願い申し上げます。

添付資料

1. 通告文（平成 14 年 8 月 27 日付）
2. 資料 = 1

以上

平成 14 年 8 月 27 日

関係各位

財団法人 日本サッカー協会
事務局 長 豊島吉博

コーナーフラッグポストの設置方法について（通達）

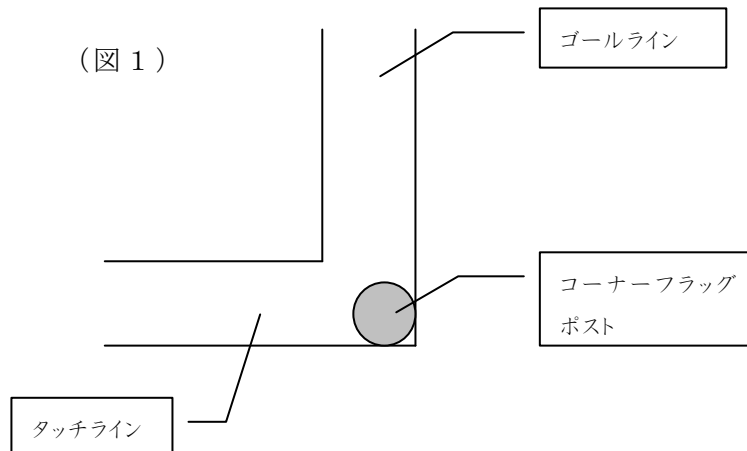
標記の件について、本協会施設委員会及び審判委員会にて協議し、2002FIFA ワールドカップ™開催時に国際サッカー連盟から指示のあった方式（図1）を採用することになりましたので、下記について関係者への周知を図られることをお願いします。

なお、この通達は本日より施行することとします。

記

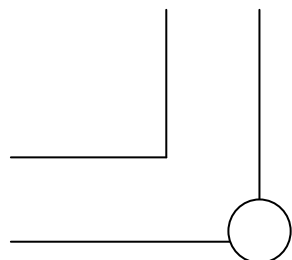
【今後の設置方法】

コーナーポストの外周が、タッチライン及びゴールラインの外側の境界線に接することになり、競技のフィールド内に位置することになります。



【参考；従来の設置方法】

タッチライン及びゴールラインの外側の境界線が交わった頂点と、コーナーポストの中心を合致するように設置していた。



以上

コーナーフラッグポストの設置方法について

設置例＝ 1

下記の設置例ではコーナーポストの設置位置に関して問題ありませんが、ホストを受ける金属プレートの一部がラインの内側に露出しており、ライン上はフィールドの一部に含まれることから、試合実施の際に改善を指導される事例があります。天然芝では金属プレート変更の問題ありませんが、人工芝ピッチの場合は事前の準備が必要となりますので、注意して下さい。



設置例＝ 2

下記の事例は設置位置、金属プレートの位置ともに問題のない設置方法です。



備 考

上記の金属プレートは事例として示しております。穴を開けて直接ポストを立てることも問題ありません。

また、金属プレートの形状についても限定されておられませんので、念の為、申し添えます。